

国立能楽堂

令和四年

五月

May 2022
National Noh Theatre

【定例公演】5月11日(水)午後1時開演

狂言 秀句傘 大藏吉次郎(大藏流)

能 夕顔 粟谷 明生(喜多流)

山端之出

【普及公演】5月14日(土)午後1時開演

解説・能楽あんない
兄弟の絆・母の愛 坂井 孝一(初任大
学教授)

狂言 富士松 野村 萬(和泉流)

能 小袖曾我 上野 朝義(観世流)

【定例公演】5月20日(金)午後5時30分開演

狂言 右流左止 井上松次郎(和泉流)

能 須磨源氏 関根 知孝(観世流)

【特別公演】5月28日(土)午後1時開演

能 俊成忠度 観世 喜正(観世流)

狂言 宗論 茂山千五郎(大藏流)

能 綾鼓 金井 雄資(宝生流)

予約開始
4月10日(日)午前10時~
総口販売開始=4月11日(例)
(チケット売場 午前10時~午後6時)
※窓口販売用は別枠でのお取り置きは
ございません。

【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時)

0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

【インターネット】国立劇場チケットセンター

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

※全公演字幕付(日本語・英語)。全席書者の方後部席です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。出演者などの変更の場合はご了承ください。新型コロナウイルス感染症の対策に、ご理解とご協力をお願いします。詳細はホームページをご覧ください。

入場料金

〈定例・普及公演〉 正面¥5,000・脇正面¥3,300・中正面¥3,000
学生：脇正面¥2,300・中正面¥2,100

〈特別公演〉 正面¥7,800・脇正面¥6,300・中正面¥4,900
学生：脇正面¥4,400・中正面¥3,400

National Noh Theatre
May 2022

Noh/Kyogen Performances: May 11 (Wed.) 1 pm, May 14 (Sat.) 1 pm, May 20 (Fri.) 5:30 pm, May 28 (Sat.) 1 pm
Tickets: ¥3,000-¥7,800 On Sale: April 10 (Sun.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00 JST)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese.

 国立能楽堂

JR(中央・総武線)千駄ヶ谷駅(エレベーター・エスカレーターあり)下車・徒歩5分 都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口
(エスカレーターあり)・徒歩5分 東武(有楽町線)北参道駅下車 出口B(エレベーター・エスカレーターあり)または2(エスカレーターあり)・徒歩7分
都バス(早81(渋谷-早大正門)バス(自黒子駅ヶ谷駅前)千駄ヶ谷駅前下車・徒歩5分 バチ公バス神宮の杜ルート国立能楽堂下車すぐ
〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3425-1531(代) <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

定例公演

5月11日(水)午後1時開演

秀句傘

シテ/大名 大藏 吉次郎
アド/太郎冠者 善竹 大二郎
アド/新参者 大藏 教義

夕顔

山端之出

能【喜多流】
前シテ/里の女 粟谷 明生
後シテ/顔の上 宝生 欣哉
ワキ/旅僧 ワキツレ/從僧 野口 能弘
ワキツレ/從僧 大日方 寛
アイ/所の者 茂山 忠三郎
笛 松田 弘之
小鼓 観世 新九郎
大鼓 亀井 広忠
後見 狩野 了一
佐々木 多門
佐藤 陽 粟谷 充雄
友枝 真也 金子 敬一郎
大島 輝久 長島 茂
塩津 圭介 内田 成信

普及公演

5月14日(土)午後1時開演

兄弟の絆・母の愛

坂井 孝一 (創価大学教授)

富士松

シテ/太郎冠者 野村 万蔵
アド/主 野村 万蔵

小袖曾我

能【観世流】
シテ/曾我十郎 上野 朝義
ツレ/曾我五郎 上野 朝三
ツレ/母 野村 昌司
ツレ/鬼王 上野 朝彦
アイ/春日の局 小笠原 由介
小鼓 小野寺 竜一
大鼓 清水 皓祐
後見 柿原 光博
寺井 榮
武田 亮二 北浪 貴裕
武田 祥照 中島 志津夫
武田 宗典 岡 久広
武田 友志 関根 知孝

定例公演

5月20日(金)午後5時30分開演

右流左止

シテ/塩飽藤藏 井上 松次郎
アド/茶屋 今枝 郁雄

須磨源氏

能【観世流】
前シテ/老人 関根 知孝
後シテ/光源氏 殿田 謙吉
ワキ/藤原興範 則久 英志
ワキツレ/從者 御厨 誠吾
アイ/里人 佐藤 友彦
小鼓 榎宅 聡
大鼓 飯田 清一
後見 桜井 弘和
武田 上 尚浩
坂井 音晴 藤波 重彦
坂井 音隆 浅見 重好
清水 義也 藤波 重孝

特別公演

5月28日(土)午後1時開演

俊成忠度

シテ/平忠度 観世 淳正
ツレ/藤原俊成 観世 弘之
アド/俊成の從者 市口 能之
ワキ/團部六弥太 竹野 幸一
小鼓 野中 正昭
大鼓 原野 昭之
後見 幸岡 昭之

宗論

能【大藏流】
シテ/浄土僧 山本 千五郎
アド/法華僧 山本 千五郎
アド/宿の亭主 松本 千五郎

綾鼓

能【宝生流】
前シテ/庭掃きの老人 井藤 雄資
後シテ/老人の怨霊 井藤 雄資
ワキ/臣下 小島 金太郎
ツレ/女御 小島 金太郎
アイ/從者 小島 金太郎
小鼓 小島 金太郎
大鼓 小島 金太郎
後見 小島 金太郎

秀句傘 大名は秀句(しゃれ)を教えてもらうために男を雇いますが、男の言う秀句を全く理解できず...
夕顔 僧が京の五条辺りで出会った女性は光源氏に愛された夕顔の霊でした。「源氏物語」に取材した作品で、懐くも清らかな物語が繰り広げられます。

富士松 太郎冠者は主人に内緒で富士詣へ。その土産の松をめぐって、二人の連歌合戦が始まります。
小袖曾我 曾我十郎・五郎兄弟は父の敵討ちを前に母の元を訪れます。五郎は勘当の身でしたが、十郎のとりなしで許され、連れ立って颯爽と門出の舞を舞い、決意を胸に富士の裾野に向かいます。

右流左止 西国の塩飽藤藏は都へ上る途中、明石の浦の茶屋に立ち寄ります。すると、思わぬことから茶屋の女と「うるさし」という言葉をめぐる風雅な言葉争いが始まります...
須磨源氏 光源氏が詫び住まいした須磨の浦。日向の神官・藤原興範がその旧跡を訪ねると光源氏の霊が現れ、月澄みわたる海原を背景に夜遊の舞を舞います。光源氏をシテとする唯一の能です。

和歌への思いと修羅の苦しみ
俊成忠度 自作の歌を朝敵ゆえに「詠み人知らず」とされた平忠度。死後もその妄執は消えず、歌集の選者・藤原俊成の前に忠度は現れますが、そこでも修羅道の責めに襲われ苦患の様を語ります。
宗論 浄土僧と法華僧の二人が宗旨を争い出し、経文や説教をもじった愉快な論が飛び出します。白熱した応酬の最後は...
仄暗い恋の執心
綾鼓 高貴な女御に恋をした庭掃きの老人は、鼓を鳴らせば違えと聞いて試みます。しかしそれは綾絹を張った鳴らない鼓でした。老人は女御を恨み入水、怨霊となって現れます。